

ごあいさつ

校長 加藤 貴久

ご入学、ご進学、ご進級のみなさん、おめでとうございます。

今年度、校長として着任いたしました加藤 貴久です。どうぞよろしく願いいたします。

本日、小学部15名、中学部4名、高等部6名の新1年生を迎えて、令和5年度入学式・始業式を行いました。新型コロナウイルス感染症への注意の必要があるため、在校生は、教室のモニターを見ながら式に参加しました。新しい学校生活へのたくさんの期待と少しの不安を感じていることと思います。

左近山特別支援学校の一員として、一人ひとりが持てる力を発揮して、伸び伸びと過ごすことのできる学校づくりにみんなと一緒に取り組んでいきます。教職員一同、みなさんの思いや願いをしっかりと受け止めて、主体的にいろいろな活動ができるように計画をしています。一人ひとりが学級での活動や教科の学習グループでの活動をするなど、環境を変えて、学習の場を増やしていくなどの工夫をしていきます。新型コロナウイルス感染症については、まだ気を付けなくてはいけないので、教職員はみなさんと一緒に過ごすときはマスクをするなどの対策をしていきます。

地域の皆様には開校当初からあたたかいご支援をいただきまして感謝申し上げます。引き続き、子どもたちが左近山の地で生き生きと活動できるよう努めてまいります。

保護者やご家族の皆様、関係機関の皆様、子どもたちの健やかな成長のためにお力添えをいただくことが多々あるかと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

なお、ご来校の際は、感染を広げないための対策へのご協力をお願いいたします。